

シュミレーション結果

将来に渡っての資金残高の目標とする金額である残高目標を表示しています。

資金残高の残高目標						
2008年度までは30万円以上、2009年度から2011年度までは60万円以上、2012年度から2016年度までは150万円以上、2017年度から2026年度までは350万円以上、2027年度以降は600万円以上						

シナリオID	改善可否の判定	具体的な改善策					詳細ページ
		基本生活費	娯楽費	住宅購入価格	太郎様の給与収入	花子様の給与収入	
1	改善が可能	10.0%減らす	20.0%減らす	592万円減らす			ページ 3
2	改善が可能	10.0%減らす	20.0%減らす		41万円増やす		ページ 14
3	改善が可能	10.0%減らす	20.0%減らす			41万円増やす	ページ 25
4	改善が可能	1.4%減らす	2.8%減らす	940万円減らす			ページ 36
5	改善が可能			940万円減らす	4万円増やす		ページ 47
6	改善が可能			940万円減らす		4万円増やす	ページ 60
7	改善が可能	シュミレーションを行ったシナリオを表示しています。1行ごとに1つのシナリオを表し、1行に複数の項目が表示されている場合、同時にそれらを実行することを表します。改善可否の判定が「改善が可能」な場合は、その行に示された内容が具体的な改善策となります。一方、判定が「残高目標を下回る期間が残る」の場合は、指定した最適化の調整率(調整額)の範囲内では改善策が見つからなかったことを表しています。			71万円増やす		ページ 73
8	改善が可能					99万円増やす	ページ 81
改善前	残高目標を下回る期間残る						ページ 90

注1) 各シナリオの改善策に複数の項目が示されている場合、これらを組み合わせて同時に実行することを表しています。
注2) 基本生活費、娯楽費の項目は、各シナリオの比率だけ、キャッシュフローの全期間に渡って一律に支出額を減少させることを表しています。
注3) 給与収入の項目は、各シナリオの金額に給与水準の調整を加えた金額だけ、指定した複数の年度に対して一律に給与収入を増加させることを表しています。

キャッシュフローの条件によって、改善策に示される項目が異なります。(○が改善策に含まれる項目)

		基本生活費	娯楽費	住宅購入価格	家賃	夫の給与収入	妻の給与収入	夫の可処分所得	妻の可処分所得
給与収入アプローチ	住宅購入	○	○	○		○	○		
	持家	○	○			○	○		
	一生涯賃貸	○	○		○	○	○		
可処分所得アプローチ	住宅購入	○	○	○				○	○
	持家	○	○					○	○
	一生涯賃貸	○	○		○			○	○

シナリオ3 シミュレーション詳細

シミュレーション詳細の図表は、次のページの「改善可否、改善策」以外は、「資金残高キャッシュフロー」と同じ形式の図表を使用しています。「改善可否、改善策」以外の図表については、「資金残高キャッシュフロー」の図表の見方をご参照下さい。

図表3-1 改善可否、改善策 (シナリオ3)

将来に渡っての資金残高の目標とする金額である残高目標を表示しています。

シミュレーションの条件

資金残高の改善目標	2008年度までは30万円以上、2009年度から2011年度までは60万円以上、2012年度から2016年度までは150万円以上、2017年度から2026年度までは350万円以上、2027年度以降は600万円以上
-----------	--

シミュレーションの結果

資金残高の改善可否	改善が可能です。
-----------	----------

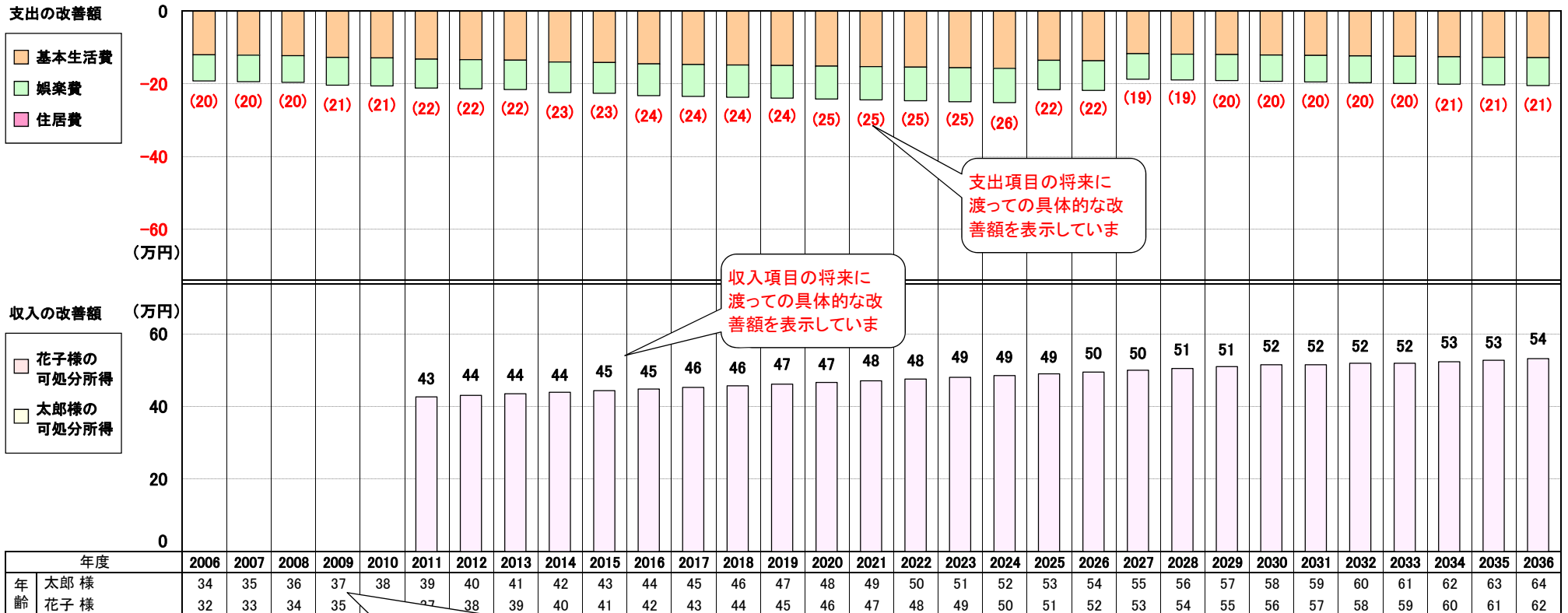
改善が可能かそれとも残高目標を下回る期間が残るかの判定を表示しています。

改善策

基本生活費を将来に渡って10.0%減らします。娯楽費を将来に渡って20.0%減らします。

花子様の給与収入を将来に渡って41万円に給与水準の調整を加えた金額だけ増やします。

改善可能な場合は具体的な改善策を、残高目標を下回る期間が残る場合は行ったシミュレーションの内容を表示しています。



年度末時点における、夫、妻の方の年齢を表示しています。収入、支出の改善額と年齢との関係を確認することができます。

注) 年齢は年度末時点を表示しています。

補足資料(改善前のキャッシュフロー)

改善前のキャッシュフローは、「資金残高キャッシュフロー」と同じ内容となります。改善前のキャッシュフローの図表については、「資金残高キャッシュフロー」の図表の見方をご参照下さい。